

「バイオハザードⅣ アフターライフ」

★★

2010（平成22）年9月12日鑑

賞く梅田ピカデリー >

監督・脚本・製作・：ポール・W・S・アンダーソン

アリス（元アンブレラ社の特殊作業員）／ミラ・ジョヴォヴィッチ

クレア・レッドフィールド（かつてアリスと行動を共にした女性）／アリ・ラター

クリス・レッドフィールド（クレアの兄）／ウェントワース・ミラー

アルバート・ウェスカー（アンブレラ社会長）／ショーン・ロバーツ

ルーサー・ウェスト（元プロバスケットボール選手）／ボリス・コジョー

エンジェル・オーティス／セルジオ・ペリス＝メンチェルタ

ベネット（元映画プロデューサー）／キム・コーツ

クリスタル（売れない女優）／ケイシー・バーンフィールド

2010年・アメリカ映画・97分

配給／ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

<「パート4」ともなると・・・>

ミラ・ジョヴォヴィッチ扮する美しき女戦士アリスとアンブレラ社との戦い、そして地球上に蔓延し、次第に能力を増強させるアンデッドとの戦い。果たして、人類にそして地球に未来はあるのか？T-ウイルスによる突然変異によって超人的なパワーを与えられ、増強されてきたアリスの働きによって人類を救うことはできるのか？過去3作の『バイオハザード』シリーズはそんなテーマ（『バイオハザード』（02年）（『シネマルーム2』235頁）、『バイオハザードⅡ アポカリプス』（04年）（『シネマルーム6』300頁）、『バイオハザードⅢ』（07年）（『シネマルーム16』423頁）参照）だが、第4作ともなると、さてどんなストーリーに？

「パート4」のキーワードは、「アルカディア」。アフガニスタンでは何となく悪の源であるかのように宣伝されているアルカイダと語呂が似ているが、本作に登場するアルカディアは悪の源ではなく、希望の源泉。なぜなら、数日前まで放送されていたアルカディアからのラジオ放送によると、そこはウイルス感染なし、食糧ありの別天地らしいから。第4部は、そんな状況設定だが・・・。

<序盤が長すぎ？友人との再会も不自然？>

本作のハイライトは、同じようなスタイルのもので2つある。それは、アリスとアンブレラ社本部のウェスカー（ショーン・ロバーツ）との対決。そのいずれもアリスの勝ちで、ウェスカーの負け。その結果、ウェスカーはアンブレラ社本部から小型飛行機で脱出するのだが、脱出直後に本部を核爆発させてしまう装置が稼働するため、アリスたちは本部もろとも全員爆死？映画冒頭のハイライトシーンはそんな印象だが、ラストのハイライトシーンはあっと驚く逆転劇があるからご安心を。

それはともかく、東京に設置されていたアンブレラ社本部はこの核爆発によって一気に壊滅した上、東京はそして世界はたちまち死滅状態に。その結果、たった一人生き残った（？）アリスは今、他の生存者を求めてアメリカ西海岸の空を2人乗りの小型飛行機で飛んでいた。目指すのは、アラスカにあるらしいアルカディア。ところが、そこでアリスが見つけたものは？

この間の状況は、ずっと自分の行動をVTRに撮っているアリスの「実況放送」によって語られるが、序盤のそれがやけに長い。その上、アルカディアに到着した中で出会ったたった一人の人間が、かつて行動を共にしていた女性・クレア（アリ・ラター）というのは、何か不自然？さらに、アリスがクレアと一緒にロサンゼルスまで飛ぶと、アンデッドたちに囲まれた刑務所の屋上に数人の人間たちが生き残っているのを発見。この状況設定も、かなり不自然では？

<中盤からの脱出劇がメインだが・・・>

本作のメインは、刑務所の屋上で出会った本作の登場人物たちとアリスとの協力によるアルカディアへの脱出劇。頑丈な壁で守られた刑務所内で、何とか人間らしい生活を営んでいたのは元プロバスケットボール選手のルーサー（ボリス・コジョー）、元映画プロデューサーのベネット（キム・コーツ）、売れない女優のクリスタル（ケイシー・バーンフィールド）たちだが、まずはそのキャラに注目。もう一つの注目は、ルーサーたちが殺人犯だと思い込んで監禁していた屈強な男クリス（ウェントワース・ミラー）の存在。何と、このクリスはクレアの実の兄だったから、そんな状況設定も少し安易すぎ？

地下を掘り、塀を崩して迫り来るアンデッドたち。化け物のような大巨人の登場というおまけを、これもご愛嬌と思いつつアリスたちの脱出劇を楽しまなければならぬが、さてそのストーリー展開の出来は？

<ラストには「パート5」の予告編も・・・>

アルカディアはアラスカにある都市ではなく、実は刑務所から双眼鏡で見ることが出来る海に浮かぶ船。仲間を何人も失いながら、アルカディア号にたどり着くことができたのは、アリスとクリスとクレア兄妹の3人だが、そこでアリスたちが見たものとは？

冒頭に登場したアンブレラ社はその後スクリーン上に一切登場しなかったから、きっとそこはアンブレラ社の本部。そして、死んだのかと思わせたウェスカーはきっと復活しているはず？そんな「読み」どおり、ラストは再びアリスとウェスカーとの対決になるが、ウェスカーがここで何をやっているのかよくわからないところが玉に傷？また、ウェスカーには部下が誰一人おらず、ウェスカーを守るのは凶暴な2匹のペット犬だけだから、これも不可解。それはともかく、今やアンデッド寸前に化しているウェスカーとの対決に勝利したアリスは、アルカディア号の乗組員2千人を解放し、アルカディア放送を再開したから、これにてハッピーエンド・・・。

誰もがそう思うはずだが、これで『バイオハザード』シリーズが終わってしまったのは興行的に損。そう考えたプロデューサーたち（？）が登場させた、「パート5」の予告編とは？それは、あなた自身の目でしっかりと。そして、次回も観に行くかどうかの判断も、あなた自身の目でしっかりと。

2010（平